



長年にわたり日赤へ寄附

11月29日、深江町の^{かんじ}上田完治さんが日本赤十字社へ寄附をするため、市役所を訪れました。日赤長崎県支部の関係者も同席する中、上田さんは日赤の南島原市地区長である松本市長に寄附を手渡しました。

上田さんは、平成14年度から寄附活動を始め、17年間にわたり多くの寄附をされています。松本市長は、長年の寄附活動に対する感謝を述べました。

**いつまでもお元気で
～100歳おめでとうございます～**



小玉 アヤコさん(口之津町)
大正7年12月8日生まれ



金子 トシエさん(有家町)
大正7年12月11日生まれ



七條 ミホさん(南有馬町)
大正7年12月13日生まれ



優勝した一般の部男子チーム(左)、一般の部女子チーム(右)

ソフトボールで総合優勝

11月10日、11日に行われた第69回長崎県民体育大会のソフトボール競技一般の部で男女優勝を飾った南島原市が初の総合優勝を果たしました。

一般女子の監督、伊藤光喜さんは「選手の日ごろの練習の成果が発揮できた。優勝できてとても嬉しい」と話しました。選手のみなさん、おめでとうございます。



目指せ未来の芸術家・科学者

11月18日、「第12回北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展」の表彰式を行いました。

西望賞教育美術展では、西望賞6人のほか99人が入賞、また古野賞科学技術展では、古野賞2人のほか12人が入賞しました。

保護者や学校関係者が見守る中、式に出席した受賞者へ永田教育長が一人ひとりに表彰状を手渡しました。

審査員からは「作品を通して子どもたちが素直で楽しく取り組む姿が想像できた」との講評がありました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。



第15回深江地区分団対抗ポンプ操法大会を開催

11月25日、深江グラウンドで深江町内を管轄する8つの分団が、消防技術や動作の正確さを競う分団対抗ポンプ操法大会を開催しました。

大会に向けて2週間にもわたる夜間訓練で、消防技術が向上し、団員間の結束力も強まりました。

- 成績結果
- 優勝…第8分団
- 準優勝…第7分団
- 第三位…第2分団



ショートフィルム 第二弾 制作発表会

12月2日、西有家総合学習センター カムスで、第二弾となる観光ショートフィルムの制作発表会を開催しました。

発表会は前作「夢」の上映で幕を開け、この制作に携わった野上監督をはじめとするスタッフらによるトークショーが行われました。

トークショーでは、前作の撮影秘話や第二弾にける思いなどが語られたほか、来場者の皆さんから、前作のお気に入りの場面や感想などの発表もありました。

終盤では、第二弾の概要やエキストラ募集についての発表もあり、次回作への期待が高まりました。

野上監督は「市民の皆さんのご協力をいただき、みんなで作り上げたい」と話しました。



旧吉川小学校でグリーン・ツーリズム 全国大会を開催

11月21日、旧吉川小学校で全国グリーン・ツーリズム・ネットワーク長崎大会南島原分科会が開催されました。100人を超える参加者の中には、遠くは北海道や山形県からの参加もありました。

「廃校を活用した地域づくりの推進」をテーマに本市の民泊や廃校活用の事例発表やパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは「地域の方々は何も無い所だと思っていたが、民泊や廃校舎活用で人が集まることは嬉しいこと」との意見もあり、『地域の宝が何なのか、それを活かすために地域は何をしなければならぬのかを考えることが重要』というまとめで閉会しました。

終了後には、交流会が行われ、地元の郷土料理と地酒で交流を深めました。

「まちの話題」では、市内の行事や出来事を紹介しています。紙面の都合上、広報南島原に掲載できなかった話題や写真は南島原市ホームページの「まちの話題WEB版」に掲載しています。

ぜひご覧ください。

南島原市

Focus in 南島原 まちの話題



九州電力と地域の皆さんで 西望公園を清掃

九州電力島原営業所の皆さんが、地域貢献活動の一環で西望公園の清掃活動を11月14日に行いました。

この活動は4回目を迎え、今回初めて地域の皆さんも参加し、総勢17人による作業活動となりました。高所作業車を利用した高木の剪定や草刈りなどを行い、西望公園はいつも以上にきれいになりました。

参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



南島原ひまわり村の皆さんで ボランティア清掃活動

市内170軒を超える農林漁業体験民泊の受入家庭で組織する「南島原ひまわり村」の皆さんが、民泊の入離村式で利用している公共施設(南有馬体育館・武道館、ありえコレジヨホール、世紀の泉)の清掃や周辺の草取りなどのボランティア活動を行いました。これは、受入家庭の皆さんが、日頃の感謝と地域貢献のために、昨年に引き続き実施したものです。参加した人は、このような取り組みを通して、来訪されたお客様だけでなく、地域にとっても喜ばれる民泊事業でありたいと話していました。